

四 半 期 報 告 書

(第106期第2四半期)

日 和 産 業 株 式 会 社

E 0 0 4 5 4

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

日 和 産 業 株 式 会 社

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	3
3 【関係会社の状況】	3
4 【従業員の状況】	3
第2 【事業の状況】	4
1 【生産、受注及び販売の状況】	4
2 【事業等のリスク】	4
3 【経営上の重要な契約等】	4
4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	5
第3 【設備の状況】	7
第4 【提出会社の状況】	8
1 【株式等の状況】	8
2 【株価の推移】	10
3 【役員の状況】	10
第5 【経理の状況】	11
1 【四半期連結財務諸表】	12
2 【その他】	25
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	26

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成21年11月13日

【四半期会計期間】 第106期第2四半期(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

【会社名】 日和産業株式会社

【英訳名】 NICHIIWA SANGYO CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 中 橋 正 敏

【本店の所在の場所】 神戸市東灘区住吉浜町19番地の5

【電話番号】 神戸(078)811-1221

【事務連絡者氏名】 総務部長 濱 門 一 人

【最寄りの連絡場所】 神戸市東灘区住吉浜町19番地の5

【電話番号】 神戸(078)811-1221

【事務連絡者氏名】 総務部長 濱 門 一 人

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所

(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第105期 第2四半期連結 累計期間	第106期 第2四半期連結 累計期間	第105期 第2四半期連結 会計期間	第106期 第2四半期連結 会計期間	第105期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 7月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 7月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (千円)	30,322,789	22,355,647	15,338,443	11,247,387	59,526,343
経常利益又は 経常損失(△) (千円)	59,324	707,524	△118,593	228,963	△104,334
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失(△) (千円)	8,474	515,974	△93,637	148,676	56,293
純資産額 (千円)	—	—	15,421,511	15,830,020	15,379,574
総資産額 (千円)	—	—	29,939,992	28,052,116	28,393,899
1株当たり純資産額 (円)	—	—	765.52	819.20	795.84
1株当たり四半期 (当期)純利益金額又は 1株当たり四半期 純損失金額(△) (円)	0.42	26.70	△4.65	7.69	2.84
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	—	—	51.5	56.4	54.2
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	△42,895	1,310,412	—	—	2,559,505
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	78,452	△225,820	—	—	11,903
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△370,722	△1,151,013	—	—	△241,591
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (円)	—	—	1,796,169	4,394,732	4,461,153
従業員数 (名)	—	—	251	240	239

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額」は、第105期第2四半期連結累計期間、第106期第2四半期連結累計期間、第106期第2四半期連結会計期間及び第105期については潜在株式がないため記載しておりません。第105期第2四半期連結会計期間については1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数(名)	240 (88)
---------	-------------

- (注) 1 従業員数は就業人員であります。
2 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第2四半期連結会計期間の平均雇用人員であります。
3 臨時従業員には、パートタイマー、嘱託契約の従業員を含んでおります。

(2) 提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数(名)	217 (86)
---------	-------------

- (注) 1 従業員数は就業人員であります。
2 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第2四半期会計期間の平均雇用人員であります。
3 臨時従業員には、パートタイマー、嘱託契約の従業員を含んでおります。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
飼料事業	8,701,052	△33.1
畜産事業	614,015	△2.3
合計	9,315,068	△31.7

- (注) 1 金額は、製造原価によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3 飼料事業における生産高の大幅な減少は、原材料価格の下落によるものであります。

(2) 受注実績

当社グループは受注生産を行っておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
飼料事業	9,709,075	△27.5
畜産事業	1,538,312	△21.0
合計	11,247,387	△26.7

- (注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3 相手先別の販売実績につきましては、総販売実績に対して100分の10を超える相手先はありませんので記載を省略しております。
4 飼料事業における販売高の大幅な減少は、配合飼料価格の値下げによるものであります。

2 【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態の分析

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億41百万円減少し280億52百万円となりました。この要因は、原材料及び貯蔵品が3億10百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が9億28百万円減少したこと等によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億92百万円減少し122億22百万円となりました。この要因は、短期借入金が10億46百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億50百万円増加し158億30百万円となりました。この要因は、利益剰余金が4億19百万円増加したこと等によるものであります。

(2) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国経済の低迷や企業収益の落ち込みによる設備投資の抑制、雇用情勢悪化による個人消費の低迷などから、依然として先行き不透明な状態が続いております。

配合飼料業界におきましては、投機資金の流入などにより原油相場および主原料であるとうもろこしのシカゴ穀物相場が上昇傾向に転じたため、平成21年7月に配合飼料価格の値上げを行いました。

一方で、畜産物相場につきましては、全畜種にわたり前年を下回る相場となっております。

このような状況のもと、当第2四半期連結会計期間における当社業績につきましては、平成21年1月の大幅な値下げの影響により配合飼料価格が低下したため、売上高は前年同期比26.7%減の112億47百万円となりました。利益面につきましては、前年同期に比べ比較的安定した主原料相場のため製造原価が減少し、営業利益は1億72百万円（前年同期2億5百万円の営業損失）となりました。経常利益は2億28百万円（前年同期1億18百万円の経常損失）、四半期純利益は1億48百万円（前年同期93百万円の四半期純損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

飼料事業

売上高は原材料価格の下落による配合飼料価格の値下げにより97億9百万円（前年同期比27.5%減）となりました。また、営業利益は原価率改善のため4億28百万円（前年同期1億51百万円の営業損失）となりました。

畜産事業

鶏卵相場と豚肉相場ともに軟調で推移したことから売上高は15億38百万円（前年同期比21.0%減）となり、営業利益は14百万円（前年同期比84.0%減）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、43億94百万円となり、当第1四半期連結会計期間末より3億71百万円減少致しました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は65百万円（前年同期使用した資金は3億20百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が2億65百万円、減価償却費を1億35百万円計上した一方、売上債権が2億87百万円増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は94百万円（前年同期得られた資金は1億54百万円）となりました。これは主に、貸付金の回収による収入が、貸付による支出を85百万円上回ったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は5億31百万円（前年同期得られた資金は2億53百万円）となりました。これは主に短期借入金で5億23百万円減少したことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間の研究開発費の総額は32百万円であります。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

該当事項はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	79,591,000
計	79,591,000

② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成21年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	20,830,825	20,830,825	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株でありま す。
計	20,830,825	20,830,825	—	—

(注)

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成21年7月1日～ 平成21年9月30日	—	20,830,825	—	2,011,689	—	1,904,186

(5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
豊田通商(株)	名古屋市中村区名駅4-9-8	1,362	6.54
東北グリーンターミナル(株)	青森県八戸市大字河原木字海岸24-4	1,153	5.54
(株)カーギルジャパン	東京都千代田区丸の内3-2-3	1,000	4.80
(株)みなと銀行	神戸市中央区三宮町2-1-1	975	4.68
(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	923	4.43
(株)三井住友銀行	東京都千代田区有楽町1-1-2	923	4.43
兵庫県信用農業協同組合連合会	神戸市中央区海岸通1	849	4.08
三井住友海上火災保険(株)	東京都中央区新川2-27-2	827	3.97
パシフィックグリーンセンター (株)	東京都中央区八重洲2-7-2	501	2.41
学校法人穂原学園	神戸市長田区上池田3-17-6	500	2.40
計	—	9,013	43.27

(注) 上記のほか当社保有の自己株式が1,507千株(7.23%)あります。

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,507,000	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,279,000	19,279	—
単元未満株式	普通株式 44,825	—	—
発行済株式総数	20,830,825	—	—
総株主の議決権	—	19,279	—

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が4,000株(議決権4個)含まれております。

② 【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) 日和産業株式会社	神戸市東灘区住吉 浜町19-5	1,507,000	—	1,507,000	7.2
計	—	1,507,000	—	1,507,000	7.2

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	159	210	257	239	245	243
最低(円)	141	144	190	194	225	227

(注) 株価は大阪証券取引所市場第二部におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,394,732	4,461,153
受取手形及び売掛金	10,745,282	11,673,538
商品及び製品	207,973	211,847
仕掛品	355,946	363,472
原材料及び貯蔵品	2,170,908	1,860,623
その他	924,991	577,549
貸倒引当金	△138,839	△155,184
流動資産合計	18,660,995	18,992,999
固定資産		
有形固定資産	※1, ※2 4,657,469	※1, ※2 4,873,790
無形固定資産	18,682	23,587
投資その他の資産		
長期貸付金	3,573,257	3,324,188
破産更生債権等	4,475,014	4,669,806
その他	2,014,696	2,041,526
貸倒引当金	△5,348,000	△5,532,000
投資その他の資産合計	4,714,968	4,503,521
固定資産合計	9,391,121	9,400,899
資産合計	28,052,116	28,393,899
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,734,456	4,733,019
短期借入金	5,893,752	6,939,752
未払法人税等	378,764	—
賞与引当金	153,754	130,077
その他	625,911	721,087
流動負債合計	11,786,638	12,523,936
固定負債		
長期借入金	43,131	51,757
長期未払金	112,040	112,040
退職給付引当金	280,286	326,591
固定負債合計	435,457	490,388
負債合計	12,222,095	13,014,324

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,011,689	2,011,689
資本剰余金	1,904,186	1,904,186
利益剰余金	12,181,922	11,762,572
自己株式	△293,363	△293,097
株主資本合計	15,804,433	15,385,350
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	29,601	△9,933
繰延ヘッジ損益	△4,014	4,156
評価・換算差額等合計	25,586	△5,776
純資産合計	15,830,020	15,379,574
負債純資産合計	28,052,116	28,393,899

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	30,322,789	22,355,647
売上原価	28,660,383	19,980,333
売上総利益	1,662,406	2,375,313
販売費及び一般管理費	※1 1,704,877	※1 1,774,602
営業利益又は営業損失(△)	△42,471	600,711
営業外収益		
受取利息	59,947	62,520
受取配当金	6,938	2,228
為替差益	—	41,538
保管料収入	44,246	—
その他	52,030	51,830
営業外収益合計	163,163	158,118
営業外費用		
支払利息	56,832	45,454
その他	4,535	5,851
営業外費用合計	61,367	51,305
経常利益	59,324	707,524
特別利益		
固定資産売却益	※2 2,672	—
投資有価証券売却益	27,367	15,633
貸倒引当金戻入額	—	216,200
特別利益合計	30,039	231,833
特別損失		
投資有価証券評価損	—	51,124
和解金	65,316	—
特別損失合計	65,316	51,124
税金等調整前四半期純利益	24,048	888,232
法人税、住民税及び事業税	13,094	371,000
法人税等調整額	2,479	1,258
法人税等合計	15,574	372,258
四半期純利益	8,474	515,974

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	15,338,443	11,247,387
売上原価	14,670,249	10,093,213
売上総利益	668,194	1,154,173
販売費及び一般管理費	※1 873,363	※1 982,161
営業利益又は営業損失(△)	△205,169	172,012
営業外収益		
受取利息	31,380	33,030
受取配当金	500	500
為替差益	—	18,533
保管料収入	42,541	—
その他	44,375	29,686
営業外収益合計	118,796	81,749
営業外費用		
支払利息	29,307	21,765
その他	2,913	3,032
営業外費用合計	32,220	24,798
経常利益又は経常損失(△)	△118,593	228,963
特別利益		
投資有価証券売却益	27,367	15,633
貸倒引当金戻入額	—	25,200
特別利益合計	27,367	40,833
特別損失		
投資有価証券評価損	—	4,765
和解金	65,316	—
特別損失合計	65,316	4,765
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△156,542	265,031
法人税、住民税及び事業税	△64,325	115,000
法人税等調整額	1,420	1,355
法人税等合計	△62,905	116,355
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△93,637	148,676

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	24,048	888,232
減価償却費	309,061	268,009
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	73,861	29,237
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△187	23,676
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	49,145	△46,304
受取利息及び受取配当金	△66,885	△64,749
支払利息	56,832	45,454
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△2,965	235
投資有価証券売却損益 (△は益)	△27,367	△15,633
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	51,124
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,191,523	674,936
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△83,401	△298,884
仕入債務の増減額 (△は減少)	706,175	1,436
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△46,452	△71,971
その他の資産の増減額 (△は増加)	△37,244	△197,226
その他の負債の増減額 (△は減少)	76,854	△32,424
小計	△160,051	1,255,150
利息及び配当金の受取額	66,885	64,749
利息の支払額	△56,832	△77,750
法人税等の還付額	107,102	68,263
営業活動によるキャッシュ・フロー	△42,895	1,310,412
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△91,266	△49,900
有形固定資産の売却による収入	7,757	785
投資有価証券の取得による支出	△13,776	—
投資有価証券の売却による収入	66,405	31,783
貸付けによる支出	△530,800	△1,313,636
貸付金の回収による収入	644,227	1,108,593
その他の支出	△4,095	△3,445
投資活動によるキャッシュ・フロー	78,452	△225,820
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△261,500	△1,046,000
長期借入金の返済による支出	△8,626	△8,626
自己株式の取得による支出	△39	△266
配当金の支払額	△100,557	△96,120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△370,722	△1,151,013
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△335,165	△66,421
現金及び現金同等物の期首残高	2,131,335	4,461,153
現金及び現金同等物の四半期末残高	*1 1,796,169	*1 4,394,732

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

【表示方法の変更】

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めていた「為替差益」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することとしております。なお、前第2四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「為替差益」は3,052千円であります。

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結会計期間において、営業外収益の「その他」に含めていた「為替差益」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結会計期間では区分掲記することとしております。なお、前第2四半期連結会計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「為替差益」は21,723千円であります。

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)		前連結会計年度末 (平成21年3月31日)	
※1	有形固定資産の減価償却累計額 15,490,700千円	※1	有形固定資産の減価償却累計額 15,239,692千円
※2	国庫補助金による有形固定資産の取得価額から控除されている圧縮記帳額	※2	国庫補助金による有形固定資産の取得価額から控除されている圧縮記帳額
	建物及び構築物 41,568千円		建物及び構築物 41,568千円
	機械装置及び運搬具 215,050千円		機械装置及び運搬具 215,050千円
3	偶発債務	3	偶発債務
	連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。		連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。
	(有)拓新 100,000千円		(有)拓新 100,000千円
	<u>広島食鶏事業協同組合 他16社 195,236千円</u>		<u>広島食鶏事業協同組合 他16社 232,541千円</u>
	計 295,236千円		計 332,541千円
4	当社グループは、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行8行と貸出コミットメント契約を締結しております。	4	当社グループは、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行8行と貸出コミットメント契約を締結しております。
	当第2四半期連結会計期間末における貸出コミットメントに係る借入金未実行残高等は次のとおりであります。		当連結会計年度末における貸出コミットメントに係る借入金未実行残高等は次のとおりであります。
	貸出コミットメントの総額 5,230,000千円		貸出コミットメントの総額 5,230,000千円
	<u>貸出実行残高 1,830,500千円</u>		<u>貸出実行残高 2,876,500千円</u>
	差引額 3,399,500千円		差引額 2,353,500千円

(四半期連結損益計算書関係)

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
※1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。 運賃保管料 383,963千円 飼料価格安定基金負担金 553,070千円 従業員給与手当 206,485千円 貸倒引当金繰入額 73,861千円 賞与引当金繰入額 32,004千円 退職給付引当金繰入額 55,921千円	※1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。 運賃保管料 331,540千円 飼料価格安定基金負担金 638,584千円 従業員給与手当 188,850千円 貸倒引当金繰入額 245,167千円 賞与引当金繰入額 43,307千円 退職給付費用 △44,378千円
※2 固定資産売却益の内容は次のとおりであります。 土地 2,672千円	

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
※1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。 運賃保管料 188,680千円 飼料価格安定基金負担金 273,834千円 従業員給与手当 100,675千円 貸倒引当金繰入額 2,018千円 賞与引当金繰入額 25,894千円 退職給付引当金繰入額 80,764千円	※1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。 運賃保管料 160,644千円 飼料価格安定基金負担金 309,119千円 従業員給与手当 94,786千円 貸倒引当金繰入額 207,707千円 賞与引当金繰入額 25,227千円 退職給付費用 △3,278千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金勘定 1,796,169千円 現金及び現金同等物 1,796,169千円	※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金勘定 4,394,732千円 現金及び現金同等物 4,394,732千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	20,830,825

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	1,507,089

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成21年6月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	96,624	5.00	平成21年3月31日	平成21年6月29日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	飼料事業 (千円)	畜産事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,392,290	1,946,152	15,338,443	—	15,338,443
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	483,727	—	483,727	(483,727)	—
計	13,876,018	1,946,152	15,822,171	(483,727)	15,338,443
営業利益又は営業損失(△)	△151,340	91,910	△59,429	(145,739)	△205,169

(注) 1 事業区分は製品・商品の種類及び性質を考慮した区分によっております。

2 各事業の主な製品・商品

(1) 飼料事業・・・・・・養鶏用、養豚用、養牛用及び養魚用他飼料

(2) 畜産事業・・・・・・鶏卵、鶏肉、豚、牛

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	飼料事業 (千円)	畜産事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,709,075	1,538,312	11,247,387	—	11,247,387
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	347,940	—	347,940	(347,940)	—
計	10,057,015	1,538,312	11,595,327	(347,940)	11,247,387
営業利益	428,481	14,662	443,144	(271,131)	172,012

(注) 1 事業区分は製品・商品の種類及び性質を考慮した区分によっております。

2 各事業の主な製品・商品

(1) 飼料事業・・・・・・養鶏用、養豚用、養牛用及び養魚用他飼料

(2) 畜産事業・・・・・・鶏卵、鶏肉、豚、牛

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	飼料事業 (千円)	畜産事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	26,445,752	3,877,037	30,322,789	—	30,322,789
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	962,167	—	962,167	(962,167)	—
計	27,407,920	3,877,037	31,284,957	(962,167)	30,322,789
営業利益又は営業損失(△)	6,084	195,629	201,714	(244,185)	△42,471

(注) 1 事業区分は製品・商品の種類及び性質を考慮した区分によっております。

2 各事業の主な製品・商品

(1) 飼料事業・・・・・・養鶏用、養豚用、養牛用及び養魚用他飼料

(2) 畜産事業・・・・・・鶏卵、鶏肉、豚、牛

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	飼料事業 (千円)	畜産事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	19,212,265	3,143,382	22,355,647	—	22,355,647
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	694,856	—	694,856	(694,856)	—
計	19,907,122	3,143,382	23,050,504	(694,856)	22,355,647
営業利益	894,070	45,611	939,682	(338,970)	600,711

(注) 1 事業区分は製品・商品の種類及び性質を考慮した区分によっております。

2 各事業の主な製品・商品

(1) 飼料事業・・・・・・養鶏用、養豚用、養牛用及び養魚用他飼料

(2) 畜産事業・・・・・・鶏卵、鶏肉、豚、牛

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）並びに前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 1 株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
819.20円	795.84円

2 1 株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 0.42円	1株当たり四半期純利益金額 26.70円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 一円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 一円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	8,474	515,974
普通株式に係る四半期純利益(千円)	8,474	515,974
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	20,145,277	19,324,637

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額 4.65円	1株当たり四半期純利益金額 7.69円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 一円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 一円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第2四半期連結会計期間は1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式がないため記載しておりません。当第2四半期連結会計期間は潜在株式がないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益又は四半期純損失(△)(千円)	△93,637	148,676
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失(△)(千円)	△93,637	148,676
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	20,145,244	19,324,480

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月14日

日和産業株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 野 田 弘 一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小 市 裕 之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日和産業株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日和産業株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月13日

日和産業株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 野 田 弘 一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小 市 裕 之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日和産業株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日和産業株式会社及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】 確認書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成21年11月13日

【会社名】 日和産業株式会社

【英訳名】 NICHIIWA SANGYO CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 中 橋 正 敏

【最高財務責任者の役職氏名】 ——

【本店の所在の場所】 神戸市東灘区住吉浜町19番地の5

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社取締役社長中橋正敏は、当社の第106期第2四半期(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。